

リーフレット及び県民フォーラムアンケート意見の分析について

コミュニケーションチーム

○ 分析対象アンケート

- ・リーフレット「森は水のふるさと」アンケートハガキ
- ・リーフレット「支えよう！かながわの森と水」アンケート
- ・第15回～第24回（平成24～26年度）県民フォーラム会場アンケート

(参考) 県民フォーラム開催地・参加者数

回	開催地	開催場所	開催日	参加者数
15	横浜市	新都市プラザ	H24. 10. 23(火)	620名
16	相模原市	相模女子大学	H24. 11. 24(土)	268名
17	横浜市	新都市プラザ	H25. 3. 16(土)	1, 172名
18	小田原市	西武小田原店	H25. 5. 25(土)	375名
19	横浜市	そごう横浜店	H25. 8. 9(金)・10 (土)	261名
20	相模原市	リヴァスポット早戸	H25. 11. 9 (土)	64名
21	横浜市	新都市プラザ	H26. 2. 22 (土)	524名
22	小田原市	西武小田原店	H26. 8. 2(土)	316名
23	川崎市	川崎アゼリア	H26. 11. 9(土)	463名
24	横浜市	横浜シンポジア	H27. 3. 22 (日)	155名

○ アンケート結果を下記項目のとおり分類しています。

項目	詳細説明	森は水のふるさと	かながわの森と水	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	計
施策	施策のあり方	0	1	0	0	4	1	3	2	1	2	1	9	24 件
負担	負担のあり方	2	3	1	2	0	0	1	0	0	1	5	0	15 件
森林	森林整備	0	4	0	4	1	2	1	1	3	0	0	1	17 件
林業	林業のあり方	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	8	11 件
獣害	獣害対策	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	6 件
河川		0	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	5 件
地下水		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件
浄化槽		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件
生活排水	生活排水対策	1	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	2	9 件
山ゴミ	山ゴミ対策	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件
川ゴミ	川ゴミ対策	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2 件
生態系		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1 件
県外	県外上流域対策	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件
子ども	子どもへの教育	5	5	0	2	0	2	2	1	2	0	1	1	21 件
PR	施策のPR	6	6	2	1	1	8	11	2	10	3	4	3	57 件
市民	市民事業関連	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3 件
活動希望	ボランティア等活動希望	1	2	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	7 件
土地取引		0	1	1	0	6	1	3	0	4	0	1	0	17 件
災害		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件
地域交流		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2 件
福祉		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 件
個別	個別検討意見	1	0	0	2	2	0	0	2	1	2	0	0	10 件
除外	検討から除外※	36	145	11	18	113	52	75	20	82	28	72	6	658 件
	計	53	175	15	34	129	69	97	30	109	41	84	35	871 件

※ 県民フォーラムの感想や、水源環境保全・再生施策に関連しない意見は除外した。

施策のあり方

番号	記載内容	性別	年代	居住地
支えよう！かながわの森と水				
1	ただ単に継続するのではなく5年経過時に一度効果を検討し必要なら計画を立て直して実施すべきと思います。	男性	30代, 60代	海老名市
第17回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
2	水資源は大切、保全・再生は拡充すべきだと思う	女性	60代	県内
3	全体として拡大すべきだが、住民の協働が必要	男性	50代	県内
4	今に不満はないので、現状維持又は縮小	男性	40代	県内
5	行政と民間が一緒になって守っていくという方向付けと実践活動が大切だと思います	男性	50代	県内
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
6	生活を守る為のインフラである水資源は継続的投資・教育が必要である	男性	30代	南足柄市
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
7	目標にしているものを知らせて欲しいです。出来るだけ具体的に教えてください	女性	50代	横浜市
8	環境保全は必要だが、財源を住民負担が大きくなる様にして、根本対策を検討して欲しい	男性	50代	横浜市
9	失業者の多い時代、若者で経験者（年齢に関わらず）生かすべきです	男性	60代	横浜市
第20回 開催地：リヴァスポット早戸（相模原市）				
10	川の番人であるフィッシャーの意見を聞くシステムを作りたいです	なし	60代	県外
11	ゴミ問題、シカの食害等トータルで考える必要があると思います	男性	40代	県外
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
12	県も横浜市のように雨水助成にも力を入れて、皆で水の大切さを実感した方がよいと思います	男性	50代	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
13	大切な問題ですが、他の問題もありますので、バランスを考慮した上での検討が必要だと思います。	女性	40代	小田原市
14	森は「生命の水」の受け皿です。森の保全・再生なしに全ての生態系は絶滅です。森林資源の良き経済性を創出し、森に経済（お金）が循環するシステムを作らねば、持続性ある森林経営又は良き森林の保全・再生は出来ません。北欧・中欧の先進的森林経営を学ぶべきだと思います。森林率68%と云う世界第2位の森林資源（宝物）を生かす方法を考えて下さい。年間約40億円×5年（一期）×4期（20年）＝約800億円と云う投資する神奈川県の水源地政策の責任は重大です。	男性	70代～	県外
第23回 開催地：川崎アゼリア（川崎市）				
15	現在の金額でも率と変えるなど効率、効果をUPしてほしい	女性	60代	東京都 大田区
第24回 開催地：横浜シンポジウム（横浜市）				
16	県のどの部門の計画・実績評価の県民対象のシンポジウムが開催されているが、共通項として数字の羅列だけのまとめ方で、ポイントの解説がない。作成された資料も素人が読んでもおもしろくも何も感じられない。県民への県政への啓蒙を目的とするならもっと分かり易い解説が必須である。	男性	70代	横浜市
17	山梨県、静岡県との協力が重要であることから、各県との協働について、個別対応以外に国への働きかけ（県を越えての仕組みづくり）はどのようにお考えでしょうか？※河川流域保全法の制定など・・・	男性	50代	横浜市
18	税を使う優先順位を考えて下さい	女性	50代	松田町
19	神奈川県を取り組みは他に類をみない先進的な内容であるが財源の少ない地方の税対策の活用の仕方等、参考にすべきところがあるのではないかと思います。	男性	60代	寒川町
20	水源環境保全・再生の取組みとは県の使う水資源の保全と考えてよいのか。それとも県内の河川環境保全も含むのか。水資源の保全と考えるなら山梨県側の植林・下水道整備を重点的に行うべきではないか。こういう機会を設けていただけてよかったです。林業振興はもっと方法を考えるべきである（里山資本主義等）	男性	60代	川崎市

番号	記載内容	性別	年代	居住地
21	多額の税金を使ったわりに極小の効果しか得られていない。民間活力を全面に押し出さないと公務員による税金のムダ使いになる。山林の個人所有者が入り組んでいるので、間伐林は他人の土地を通らないと搬出が出来ない。	男性	50代	横浜市
22	私たち、大人が真摯に取りくんでいく事は、もっとも大事な事であると思いますが、やはり子供たちに次世代教育としての担い手対策は重要ではないかと思いました。また、パネリストの方々の話の中で、税の公平性を考えると疑問も出る所ですが、考え方や感じ方を柔らかくする事も大事ではないかとも思いました。	女性	40代	湯河原町
23	1. 水源環境保全再生事業の効果としての沿岸漁業資源の回復などは検証可能でしょうか？いわゆる魚つき林 2. 目的税にすべきものか？補助・交付先のあるべき姿	男性	50代	秦野市
24	1. 水源環境保全税を活用した事業のうち「森林の保全・再生」への取組は進んでいるとの印象を受けた。さらに事業を継続する必要があると思います。2. これに対し「水源環境への負担軽減」の促進状況（特に合併処理浄化槽）はまだ充分といえない状況との印象を受けました。3. これらの課題については水源環境保全税と一般財源を相互に有効に活用できる仕組づくりが重要と思われま	男性	60代	横浜市

負担のあり方

番号	記載内容	性別	年代	居住地
森は水のふるさと				
1	水源の維持に必要なお金は、水道料金に上乗せしていただきたいと思います。県民税からの負担も理解はできますが、たくさん水を使った人は水源維持にもたくさんお金を払うというほうが公平だと考えます	男性、女性	～10代、30代、40代	相模原市
2	下水道は財政実績を多くして。総務省、環境省も受益者負担金として取るようにと言われても、一般会計から補填しなければならない。北海道の夕張市の財政破綻の原因となる。	男性	70代～	山梨県
支えよう！かながわの森と水				
3	県民一人ひとりの心構えは？税を納まるだけ？	男性	70代～	横須賀市
4	県民税からの負担も理解できますが、水源の保全を水道料金に上乗せした方が、平等だと感じます。「たくさん水を使うとたくさん保全にかかるお金も負担しなければならない」という方が納得できます。	男性、女性	～10代、30代、40代	相模原市
5	県民に何をお願いし、理解して欲しいのかが不明確	不明	70代～	横浜市
第15回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
6	本来の税の中でやるべき			
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
7	・山梨県は自県の森林を保全するため、より自県の税金のみで事業を進めるべきではないでしょうか。			
8	木平先生がおっしゃった、事業に対しての評価をしっかりと行って、県庁にデータを示してほしい。評価に見合った税の見直しを実施してほしい。			
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
9	多くのお金がかかっているのに驚きました	女性	30代	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
10	横浜市の様な、水源系から離れた裕福な地域には課税を強化すべき。	男性	30代	南足柄市
第23回 開催地：川崎アゼリア（川崎市）				
11	税は反対されやすい、水道代に反映してはいかがか	男性	20代	県外
12	取組を継続するべきだが、県民の税負担はいらぬ	男性	20代	横浜市
13	税金をかけてまでやるのはあまりよくないと思う。皆、生活に苦しんでいるのだから	男性	50代	川崎市 川崎区
14	水源環境保全税だけでは足りないのでしょうか	女性	50代	川崎市 幸区
15	県（神奈川）のみでなく、都や他の県から取っても良いのではないか。税の形ではなく、水道代として取っては反対されにくいのではないか	男性	20代	県外

森林整備

番号	記載内容	性別	年代	居住地
支えよう！かながわの森と水				
1	川は上流から下流、森から海まで水系一貫して管理する事が大切ですが、緑のダムを過大に評価することには疑問もある	男性	70代～	横浜市
2	時々道志川、宮ヶ瀬に行きます。植林を進めてない	男性、女性	70代～	川崎市
3	間伐材を山中から下ろして（自然災害を大きくするリスク対策）、活用する仕組み作りを考案する取組みにも税を投入すべき	男性	60代	川崎市
4	もう少し深く、細かく各市毎に調査してほしい	女性	30代	伊勢原市
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
5	良質な水という意味では山林の樹や広葉樹の森が保水法もよく土中の浄化が進むのではないか。	/		
6	山梨県との荒廃森林の整備について具体的な活動は？（神奈川県への参画）。人手はどうするのか？森林従事者の増員（募集）をするのか？ 60才以降の再雇用政策はどうですか？			
7	森林整備に関して、森林組合等の事業者は高齢化が進み担い手が少なくなっているという話を聞きます。このようなことが整備のさまたげにならないのでしょうか。必要であれば担い手育成も必要と考えます。			
8	今回のテーマと外れている気もしますが、日頃感じている事を書かせてもらいました。 ◎相模川支流の早戸川流域や道志川流域の一部ではヤマビルが増え、生息地域も年々拡大しています。その為、住民が里山に入らなくなり里山が荒れています。水源環境保全税をヤマビル対策に使って、しっかりした研究と対策に取り組むことを望みます。 ◎植林地は近年整備され、目に見えてきれいになっていますが、今後は、荒れている里山の雑木林の整備に力を入れて、里山雑木林の復活を願っています。			
第17回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
9	水源確保の為、県民より植林をする寄付を受けたらどうか	女性	60代	県内
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
10	山の手入れが水、川、海、魚に影響があるので、森林の手入れに多くの関心が必要だと思う	女性	50代	箱根町
11	川の上流でも森林の整備を	女性	50代	平塚市
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
12	今年の様に猛暑が続くと、水の大切さが身にしみます。地球温暖化が進んでいる現状では、より以上の取組が必要だと思います	女性	50代	藤沢市
第20回 開催地：リヴァスポット早戸（相模原市）				
13	水源に山がとても重要だと言う事が良く分かった。ブナやコナラ等広葉樹を多く植えて、杉等の根の少ない木を間引くと、山の保水力が上がって良いと思います	男性	20代	県外
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
14	山崩れ、深層崩壊防止等、災害予防のための事業を推進して下さい	男性	50代	県外
15	雨災害にあわない様、下草刈りが大事！	女性	60代	横浜市
16	いらぬ杉の木の手入れ、下の方の小さい木にも陽が当たる様にしてもらいたい	女性	60代	横浜市
第24回 開催地：横浜シンポジウム（横浜市）				
17	①今後営業メリットのない林業地については自然林に戻した方が保水性が向上するのではないのでしょうか？林業のスクラップ&ビルドが必要では？②私権の制限、放置民有地に対し、行政が介入することが今後必要では。（例、放置廃屋の撤去等の条例化）植林地→自然林に戻す③民地の（山林）の寄附の促進又は営業している山林の固定資産税を上げて寄附贈与することは可能か	男性	60代	藤沢市

山ゴミ対策

番号	記載内容	性別	年代	居住地
支えよう！かながわの森と水				
1	水源林の不当投棄、大分少なくなったが、もっと看板を増やしてほしいと思います	男性、女性	70代～	川崎市

林業のあり方

番号	記載内容	性別	年代	居住地
第20回 開催地：リヴァスポット早戸（相模原市）				
1	ここ早戸川に来る道路でも、ゴルフに行く時も杉林が痩せている。間伐が必要である。パフレットの元気な森にするために、林業に従事する人を養成又は就職できるようにするべき。公務員を増やし、ボランティア、バイトを募る	男性	60代	横浜市
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
2	水は大切に、水源を守るためにはお金が要る事が分かりました。枝打ち、手入れは高齢者にやって貰ってはどうか？	女性	50代	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
3	森は「生命の水」の受け皿です。森の保全・再生なしに全ての生態系は絶滅です。森林資源の良き経済性を創出し、森に経済(お金)が循環するシステムを作らねば、持続性ある森林経営又は良き森林の保全・再生は出来ません。北欧・中欧の先進的森林経営を学ぶべきだと思います。森林率68%と云う世界第2位の森林資源(宝物)を生かす方法を考えて下さい。年間約40億円×5年(一期)×4期(20年)=約800億円と云う投資する神奈川県の水源地政策の責任は重大です。	男性	70代～	県外
第24回 開催地：横浜シンポジウム（横浜市）				
4	木材生産を推進したい方々が木材生産と自然環境保全は相反する面をどのように対応するかの考えはあるのか疑問に感じました	女性	30代	座間市
5	間伐材の利用法の促進法を知りたい。	男性	70代	相模原市
6	間伐材の有効利用の一つにバイオマス(発電外の)利用の枠を作れないか	女性	60代	相模原市
7	間伐材の活用に関連して。娘夫婦は一昨年、木を活用した家を鎌倉市内に新築した時に、暖房として「木を燃やすストーブ」を選択した。しかし、周囲の目を気にして、昼間は使用していない。(苦情を受けたわけでもない。理由は”におい”)一般の方の理解(再生可能エネルギー、林業の活性化・拡大→気候変動の緩和等)を深める活動も必要ではないか。木材=森林の重要性を小学生から気づかせる。林業の活性化は市場を作ることが不可欠	男性	70代	横浜市
8	担い手養成は県と国(みどりの雇用創出)とを兼ねて評価との回答でしたが、県としてはトータルで、どれほど目標(数値)を立てているのか、県内の手入れが完了するのか教えていただきたい。	男性	70代	湯河原町
9	間伐・鹿狩りをすることで下草が増し、水源環境に良い影響は分かりました。間伐材、鹿の利用ルートを作ればさらに活動が進むのではないか。	男性	70代	東京都
10	水源環境保全・再生の取組みとは県の使う水資源の保全と考えてよいのか。それとも県内の河川環境保全も含むのか。水資源の保全と考えるなら山梨県側の植林・下水道整備を重点的に行うべきではないか。こういう機会を設けていただけてよかったです。林業振興はもっと方法を考えるべきである(里山資本主義等)	男性	60代	川崎市
11	多額の税金を使ったわりに極小の効果しか得られていない。民間活力を全面に押し出さないと公務員による税金のムダ使いになる。山林の個人所有者が入り組んでいるので、間伐材は他人の土地を通らないと搬出が出来ない。	男性	50代	横浜市

獣害対策

番号	記載内容	性別	年代	居住地
支えよう！かながわの森と水				
1	水源の関係で鹿の捕獲も分かりますが、農作物への被害がある事も書いて欲しかった	男性	70代～	大井町
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
2	草を守る為にはシカを殺すのは仕方ないかもしれないが、シカだって私たちと一緒に生きているので、殺すのではなく、他の方法を検討して欲しい	男性	10代	横浜市
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
3	鹿の肉を皆で食べましょう	女性	70代～	横浜市
4	シカ皮の加工職人を育てたり、シカ肉の加工食品の特産品を作るのに予算を使っては如何でしょうか	女性	30代	藤沢市
第24回 開催地：横浜シンポジウム（横浜市）				
5	木も利用できるなら、もっとシカのような命を奪ってしまうことへの利用を考えてほしい。	女性	40代	山北町
6	間伐・鹿狩りをすることで下草が増し、水源環境に良い影響は分かりました。間伐材、鹿の利用ルートを作ればさらに活動が進むのではないか。	男性	70代	東京都

河川

番号	記載内容	性別	年代	居住地
支えよう！かながわの森と水				
1	スピードを上げて人工林の手入れやコンクリートで固められた川の改修と直線的な河川の改修を望む	不明	60代	寒川町
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
2	酒匂川が以前より土砂が流失している。河口の水鳥にも影響が及ぼされているのではないかと	女性	50代	小田原市
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
3	河川を土木工事等で過度に変更しない	男性	60代	秦野市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
4	ダムの水で川が変わった気がする(砂)。川での事故が多い。	不明	70代～	二宮町
5	ゴミをへらし草取り	男性	70代～	平塚市

地下水

支えよう！かながわの森と水				
1	伊勢原は川が少なく田んぼへの水が不足している	女性	30代	伊勢原市

浄化槽

第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
1	・津久井町（相模原市）は、自らの下水道事業計画をどのように決めて、どのように計画変更したのか明確にすべきではないでしょうか。			

生活排水対策

森は水のふるさと				
1	水源税の根本廃棄物の処理及び清掃に関する法律をしっかりと。市町村長の固有事務である汚水の責任をとらえていない	男性	70代～	山梨県
支えよう！かながわの森と水				
2	水については入り側だけで、出る側（排水下水）について啓発すべきでは。使う水の裏の捨てる水に関心を持たば節水の呼びかけにも理解を得られると思う	不明	70代～	横浜市
3	水源税の適用範囲は山梨県は勿論、取水堰にまで広げて、良質の水の確保に努めるべきである	不明	70代～	横浜市
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
4	浄化槽対策を進めてほしい。	/		
5	森林整備、河川敷改善等も重要ですが、生活排水を如何に流入させないかが最重要であると考えます。又、洗剤とか自然分解する安全なものも市販されていますので、県民の啓発活動も必要と思います。			
6	リン、チッ素、アオコ、生活排水対策については原因を調べその対策が望まれる。そして税の投入だと思います。 ※アンケートなのに手を挙げたり誘導尋問みたいで変に思いました。			
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
7	山梨県の水の浄化をお願いしたいです	女性	40代	横浜市
第24回 開催地：横浜シンポジア（横浜市）				
8	桂川清流センターでの取り組みを否定するつもりはないが、合併処理浄化槽の設置の県外助成の方が合理的で効果があると思う。もちろん山梨県の施策への組み込みが必要だと思うが、がんばって欲しい。	男性	50代	横浜市
9	1. 水源環境保全税を活用した事業のうち「森林の保全・再生」への取組は進んでいるとの印象を受けた。さらに事業を継続する必要があると思います。 2. これに対し「水源環境への負担軽減」の促進状況（特に合併処理浄化槽）はまだ充分といえない状況との印象を受けました。3. これらの課題については水源環境保全税と一般財源を相互に有効に活用できる仕組づくりが重要と思われま。	男性	60代	横浜市

川ゴミ

第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
1	今回のトークショーでゴミ問題がこれだけ問題になっている事、ゴミを捨てないようにする	男性	40代	県外
第24回 開催地：横浜シンポジア（横浜市）				
2	河川ゴミ問題の対策事業にも水源税を充てるべき。	男性	60代	平塚市

子どもへの教育

番号	記載内容	性別	年代	居住地
森は水のふるさと				
1	とても大切な事を教えていると思います。お金だけでは出来ない人の手の大切さも教えています。もう少し近くで子供たちに、緑と水の大切さを肌で感じさせられたらと思います	女性	50代	横浜市
2	県内小中学生は全員この水源林（寄）を訪れているのでしょうか	男性	60代	東京都
3	子どもの頃から身近な水を大切にする教育？が必要と感じました	女性	70代～	横浜市
4	質問6番の一人当たりの値段は知らなかった。40代年位前水源地に桜の木を植えに行きました。何等かの形で、水のモニターに参加すればより水の大切さ、水道行政に関して理解が深まります。順次若い人も参加していますか？小中学生の頃しっかり現場見学をする機会があると良いと思います。水の大切さ、有難さを知ってほしい	女性	70代～	横浜市
5	現在の小・中・高に個人県民税の事を詳しく役所関係者が説明する事です	男性	50代1	川崎市
支えよう！かながわの森と水				
6	現代の子供達に説明ください	男性	50代	川崎市
7	人生の終盤にいる老人には、現状理解で精一杯。せめて、3歳以上の若年層から教育の一環として認識させる事の方が大切かと思えます	男性	60代	相模原市
8	継続的な活動が求められるため小中高での教育の中に取り込むことは？	男性	50代	東京都
9	現在の取組を子供達に説明してほしい	男性	50代	川崎市
10	水は空気と同じ大切なもの。学校教育はどのようになっている？社会教育は、折に触れ機会があるごとに啓もう。広報しよう。	男性	70代～	横浜市
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
11	本日の参加者の中でも約半数が水源環境保全税を知らなかった。もっとPRすべきだと思う。京浜地域の小学校は最近取組が盛んになってきたが、県下全域の小中学校で実習教科として積極的に取り組ませてほしい。森林整備などは、机上の学習より一日の現地実習（体験）が大事。	/		
12	解りやすい内容でした。県民にもっと知って欲しいです。又、会場（来場者）は年齢の高い方が多く、若い人、子どもにも参加、参画、出席してもらう方法を考えて下さい。アウトリーチの必要性を感じました。例えば小学校に授業、中学校では水源へ遠足とか。私たち県民はこれからも「水源環境保全税」についてみまもっていきます。			
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
13	小学生・中学生に水源を守る事をしてほしい	男性	50代	横浜市
14	教育・福祉と連携し、活動内容を広く知らしめてほしい	男性	40代	横浜市
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
15	水源環境保全の為の税は、今後も是非継続必要と思います。特に川崎、横浜、相模原市の子供達の授業に取り入れて欲しい	女性	60代	横浜市
16	水源対策は重要で、その重要性を義務教育レベルから徹底的に教える必要がある	男性	70代～	横浜市
第20回 開催地：リヴァスポット早戸（相模原市）				
17	水を大切にする取組について、小学校でも取組みしたり考えていけたらと思うので、小学生でも参加できるイベントをどんどん開いてください	女性	30代	横浜市
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
18	将来的な水不足の問題は、とても深刻ですが、まだまだ世の中に認知されていないように思います。子供向けにもっとこの様なイベントをやって参加してもらえる様にしたら良いと思います	女性	40代	横浜市
19	子ども達への普及を…	女性	30代	横浜市
第23回 開催地：川崎アゼリア（川崎市）				
20	幼稚園でも小学校でも、より多くの授業をすべき。さらに、水源への課外授業などすべきだと思います	男性	30代	川崎市 幸区
第24回 開催地：横浜シンポジア（横浜市）				
21	私たち、大人が真摯に取りくんでいく事は、もっとも大事な事であると思いますが、やはり子供たちに次世代教育としての担い手対策は重要ではないかと思いました。また、パネリストの方々の話の中で、税の公平性を考えると疑問も出る所ですが、考え方や感じ方を柔らかくする事も大事ではないかとも思いました。	女性	40代	湯河原町

施策のPR

番号	記載内容	性別	年代	居住地
森は水のふるさと				
1	改めて水の大切さを思う事になるので、宣伝した方が良い	女性	70代～	横浜市
2	「水の大切さ」を回覧、県のニュース等でPRすべきです	男性	70代	小田原市
3	もっと知る機会が欲しいですね。水は不可欠ですから。自然災害も多いし、県民に徹底周知してください		50代	県内
4	もっとアピールした方が良い	女性	70代～	横浜市
5	たまたま出会ったので、パンフレットはどの様に配布されているのでしょうか？	女性	70代～	横浜市
6	山林への実施状況は感じた所が多々あったが、他の所で多額な税がどう使われたのかが分かる所はまわりで余りない		60代	南足柄市
支えよう！かながわの森と水				
7	森と水を守る取組をもっと一般県民に理解出来るパンフレットを多く発刊してほしい	不明	70代～	平塚市
8	先日宮ヶ瀬ダム、道志川などを訪問したので、水と森のかかわりが良く理解出来たが、資料ではもう少し踏み込んだ方が良いと思う	男性	60代	横須賀市
9	施設の見学会等、県民に対するPRの機会を設けて欲しい	不明	70代～	県内
10	観光気分に参加できる取組の体感出来るツアーの企画	男性	70代～	横須賀市
11	9月23日にワイルドライフフォーラムに参加した。若い被害防除対策専門員と同じく若手狩猟者の話が素晴らしかった。もっと彼らの発表の場を増やして欲しい。	男性	70代～	綾瀬市
12	県のたよりで良く目にするけれど、多くの人は水に対するエコの意識がうすいと思います。水の大切さ、自然の大切さをもっと宣伝してください	不明	50代	川崎市
第15回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
13	PRが不足している。PRの中身が問題			
14	具体的にどの活動にいくら使われ、本当に有効に使われているかが分かる様にして欲しい。天下り団体役員の雇用になるようなら廃止			
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
15	水環境への取組みの大切さを両県民にもっと周知する。環境保全税について知らない人が多いと思われる。			
第17回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
16	東京の人に、横浜の水は不味くて飲めないと言われました。この様な取組と市民にもっと知らせて欲しいです	女性	30代	県内
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
17	横浜方面の人達は「道志川」の事は知っているが「酒匂川」等の事を知らないなので、県東部へのアピールが必要かと思った	男性	60代	小田原市
18	水の汚染防止、浄化活動に取り組んでいます。水環境の問題をもっと市民に伝え、生命の水になるよう意識を啓蒙する必要があります	男性	70代～	小田原市
19	ご案内のチラシ等一般への周知度が足りないと感じた。折角のフォーラム、そして水源エリアでの開催です。より多くの参加を得るためにも、更に一步踏み込んでください	女性	60代	小田原市
20	もっと多くの人に知らせるような活動をしてほしい	女性	70代～	秦野市
21	もっとたくさんの人に取組を知って貰う為のイベント等を多く企画して頂きたいと思い	女性	40代	横浜市
22	取組は大変良い事と思うが、新聞折込だけでなく、自治会等にも働きかけてはどうか？	女性	70代～	小田原市
23	豊田さんの写真が素晴らしいので広告として使ったらどうでしょうか	男性	50代	横浜市
24	水源の美しさを表現している豊田さんの写真を水のペットボトルのデザインに使ったらとてもいいと思います	女性	50代	横浜市
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
25	この様なイベントは参加しやすく、分かりやすい。もっと多く行くと良いのではと思いました	女性	40代	横浜市
26	水源税の用途について一層の県民への広報活動が大切である。横浜・川崎の水源についての理解度が低いようである	男性	60代	茅ヶ崎市
27	この様なイベントを頻繁にしてもらい、取組を県民により伝えて欲しい	女性	30代	横浜市
28	ダムの見学ツアーを増やして欲しいです	女性	30代	横浜市
29	アピールの仕方にはまだ考慮の余地があると思う。皮削き間伐を	男性	70代～	横浜市
30	水がつくる環境についてもパネルの展示をして方がよいと思う	男性	60代	横須賀市

番号	記載内容	性別	年代	居住地
31	生活水の汚染を防ぐ努力をした方が早いと思う。もっと県民に周知。誰も知らないから税を掛けると不満になるのでは？	女性	50代	横浜市
32	学校へ出張授業。地区センターイベントでのPR。SNSを使った複合的なPR・広報活動	男性	50代	横浜市
33	パネルの説明を聞く来場者が比較的多かった。コミュニケーションが取れて楽しかった	女性	60代	県内
34	子供向けやファミリー向けのイベントをどんどんやって欲しいです。住んでいても、知らない事がたくさんあるので、イベントを通して理解を深めたいです	女性	40代	横浜市
35	水不足を知らない神奈川県民に対してもっと知らせるべきだと思う	女性	50代	県外
第20回 開催地：リヴァスポット早戸（相模原市）				
36	もっと県民に知れ渡るようにして欲しい。保全に使われるのは大賛成です	女性	40代	相模原市
37	今回のイベント等を多くする事で、環境への意識を向上させてもらいたい	なし	50代	県外
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
38	横浜市水道局との共同企画もふやしてほしい。	女性	50代	横浜市
39	生活排水をきれいに保てるようにする為の取組について良く知りませんでした。周知の為の活動で広めて欲しいです。県民として出来る事をしたと思います	女性	50代	横浜市
40	水資源については、ほとんど知りません。公報活動を大いにやるべきだ	男性	70代～	県内
41	無関心ではられない、重要な案件で広く宣伝して欲しいと思います	女性	50代	横浜市
42	水の必要性を積極的に宣伝、推進してください	男性	60代	横浜市
43	今回初めて知りましたが、皆に知れ渡る為には、森林の見学ツアーとかがあっても良いと思いました	女性	30代	横浜市
44	配布していた水は、コンビニ等で販売してアピールするのはどうですか？	女性	30代	伊勢原市
45	良い水確保の為の森を大切に！それを周知認識される為にも、自然と触れ合う機会（ウォーキング・トレッキング等）を作ったらいいのでは？	女性	70代～	横浜市
46	もっと身近な所でPRした方が、より多くの方が、知ることが出来ると思います	女性	40代	県内
47	普段からの広報を！	男性	70代～	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
48	保全、再生について中々知る機会がないので、もっと知る機会があると良いと思いました。	女性	30代	小田原市
49	空撮をもっと見たい。引き続き、しっかりと取り組んでください。	男性	40代	茅ヶ崎市
50	もっと多くの人に水源環境保全、再生についてPRを行って欲しい。今回のパンフの西武小田原店という表記は小田原市外の人にはわかりにくかった。		60代	藤沢市
第23回 開催地：川崎アゼリア（川崎市）				
51	視察等のツアーなどもっと開催してほしい	女性	60代	川崎市 川崎区
52	川崎市民にもっと取組をお知らせしてください	男性	40代	県外
53	活動内容がもっと分かりやすく、知りやすくなると良いと思います	女性	30代	川崎市 川崎区
54	税金の使い道やその結果について教えてほしい	女性	20代	横浜市
第24回 開催地：横浜シンポジウム（横浜市）				
55	税金を払っているのは理解しているが、利用状況、効果についてもっと県民にPRしても良いのではないかと。方法を検討してほしい。水源ボランティアももっとPRすれば参加者も希望者も多く出るのではないかと。多分知らない人が多いと思います。元気なシニア世代を活用して下さい。	女性	50代	川崎市
56	水は食とのつながりが大きいと思う。本件の活動を食にからめてPRするのも意識の高揚になるのか・・・	男性	70代	藤沢市
57	フォーラムの開催の告知について。今現在活動をされている方は多く出席されているようですが、興味はあるけれど情報が入ってくる団体に所属されていない方などへの告知はどうなのか。一般の方もですが、県職員になろうと考えている方など、県主催で行われた他のイベントなどでの告知も力を入れていくべきではないでしょうか。	女性	20代	大和市

市民事業関連

番号	記載内容	性別	年代	居住地
第17回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
1	水源林保全のボランティアを集める機会を増やしたらよいと思います	男性	70代～	県内
2	ボランティアにて参加出来る方策に更に注力して欲しい	男性	70代～	県内
第24回 開催地：横浜シンポジア（横浜市）				
3	現活動者がどこの団体でも高令化にあり、後継者育成が課題であるので各団体を県としてPR強化に努め頂きたい。	男性	60代	平塚市

ボランティア等活動希望

番号	記載内容	性別	年代	居住地
森は水のふるさと				
1	森林づくりボランティアを行いたいです	男性	40代	横浜市
支えよう！かながわの森と水				
2	森林づくりボランティアを行いたいです	男性	40代	横浜市
3	機会があれば森林づくりボランティアへ参加したいと思いました	不明	50代	横浜市
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）				
4	私は今年相模原市のあじさい大学に入学して太極拳をやっていますが、申込者が多く全科合わせて1.7倍の倍率で抽選に外れた人があったと伺いました。例えば申込用紙に並べてこの水源保全のボランティアの募集などあらゆる機会を利用してはどうでしょうか。知らない人が多いと思うのでやはりPRが大切！ ボランティアを希望する人も結構いると思う!!			
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
5	現地視察（水源地）してみたい	男性	70代～	横浜市
6	森林の間伐ツアーなど行ってみたいと思います	男性	40代	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
7	子どもたちが安全に暮らしていけるよう、大人、私たちが取り組んでいけたらと思う。こういったイベントをたくさんやったらいいと思う。	女性	30代	小田原市

個別検討意見

番号	記載内容	性別	年代	居住地	
森は水のふるさと					
1	個別	堰堤を作ったから、地形が変わり生き物に影響が出るし、河川工事は何の為にやってるのかわからない。林道も	女性	30代	横浜市
第16回 開催地：相模女子大学（相模原市）					
2	個別	現在、決定されている対策・行動をまずはしっかりとやって頂きたい。又、これから必要であろうと思われる、取水/下水対策を順次取り入れて、計画を見直し、改善して行っていただきたいと 思います。			
3	個別	税の徴収に関して市民の理解を得る努力を続けていくとともに、より多くの税収を確保し、活動を実際に行うスタッフをより特化して、有償な仕事をしてより拡大していくべきだと思いました。			
第17回 開催地：新都市プラザ（横浜市）					
4	個別	水量確保のためにダムを造った為に森林を壊してしまっは、本末転倒だと思います	女性	10代	県内
5	個別	横浜市役所で水道の衛生業務を担当しています。飲料水の衛生確認の為に、水源環境のメンテナンスは欠かすことの出来ない問題です。水源環境保全税は知りませんでした。とても良い取組だと思います。市役所としても一層力を入れて、この問題に向き合っていきたいです	女性	20代	県内
第20回 開催地：リヴァスポット早戸（相模原市）					
6	個別	釣り人の減少が続いており、川の番人が減少しています。釣りの楽しさを伝える事を活動の一部に含めては如何でしょうか。今後の活動を応援させて頂き、自らも出来る限り参加させて頂きます	男性	50代	川崎市
7	個別	幼い時から日本の様々な河川で釣りをしています。毎回ゴミや水質を気にしながら釣りをしていました。しかし最近では気にならない釣り場が増えて嬉しく思っていました。今回はこの様になるまでの事を聞く事が出来て、とてもよかったです	男性	10代	県外
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）					
8	個別	天然水等が飲みたくてたまりません。人気が高まっていて、受けています。新鮮そのものですよ	男性	40代	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）					
9	個別	税が思っていたより高かったことにおどろきました。小竹地区の水源を酒匂川にしてほしいです！相模川よりきれいだからです。	女性	30代	小田原市
10	個別	水道料金をもっと安くしてほしい。	女性	40代	真鶴町

生態系

番号	記載内容	性別	年代	居住地
第24回 開催地：横浜シンポジウム（横浜市）				
1	1. 水源環境保全再生事業の効果としての沿岸漁業資源の回復などは検証可能でしょうか？いわゆる魚つき林 2. 目的税にすべきものか？補助・交付先のあるべき姿	男性	50代	秦野市

県外上流域対策

森は水のふるさと				
1	他県との共同が大きなテーマでしょうか	男性	～10代, 30代	県内

災害

支えよう！かながわの森と水				
1	神奈川県には宮ヶ瀬ダムの完成により、水不足は解消されたと理解していますが、大規模災害に対する備えは充分なのでしょうか	男性	70代～	横浜市

地域交流

支えよう！かながわの森と水				
1	取水している地域との連携を一層活発にして、両者にとって望ましい環境を保って欲しい	女性	50代	横浜市
第22回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
2	静岡県小山町と連携して、上流域の環境整備に交流（市町村レベルの）をもっとしていったらと思います。	男性	60代	小田原市

土地取引

支えよう！かながわの森と水				
1	外国人が水源辺りの山々、土地を買いあさっていると聞いた。何とか阻止して欲しい。国策でしょうか	男性	40代	小田原市
第15回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
2	外国に水資源を買われない事			
第17回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
3	水源を外国人に売らないで下さい	女性	70代～	県内
4	土地(森林)を外国に渡さぬ取組を	男性	40代	県内
5	水源を外国人に売らないで欲しい	女性	40代	県内
6	外国資本に買われない様にして下さい	男性	60代	県内
7	水源地を買われないように	男性	40代	県外
8	外国に土地を買われない様気をつける	女性	70代～	県内
第18回 開催地：西武小田原店（小田原市）				
9	水源確保に 国が動くべきだと思います。他国に土地売買をさせないようにするべき	男性	40代	小田原市
第19回 開催地：そごう横浜店（横浜市）				
10	外国人に山林を売って欲しくない	女性	50代	横浜市
11	安全な水の為には、お金(税金)が掛かるのも納得します。水源地帯を外国に買われている地方もあるというニュースも聞くので心配です。	男性	40代	厚木市
12	人間の生命に不可欠な水であり、特に水源地の保全が大切である。外国人に土地を買入れされる情報は本当だろうか？あってはならない事!!対策は如何だろうか	男性	70代～	横浜市
第21回 開催地：新都市プラザ（横浜市）				
13	神奈川県から道志村方面へどれ位の人が訪れているか分かりませんが、道志村の方で、どの様なほぜん策が取られているのかお互いに理解したいと思います	男性	70代～	横浜市
14	土地の所有について厳重に管理必要。外国人に売られないように	女性	50代	県内
15	外国が水源地を購入しているのが心配	男性	50代	横浜市
16	外国が土地と水を買取しようとの噂があるが、水は大切なので、保全が必要	女性	50代	横浜市
第23回 開催地：川崎アゼリア（川崎市）				
17	水源の土地を外国籍の人に買わせないのを法律化して下さい	女性	60代	東京都大田区